

Cisco Unified Communications Managerを使用したコールのボイスメールへの直接転送

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[概要](#)

[ボイスメールプロファイルの設定](#)

[CTIルートポイントの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、ユーザのボイスメールグリーティングに直接転送するコールを設定する方法について説明します。ユーザは、そのユーザの内線番号を呼び出したり、開いているグリーティングをナビゲートしたりすることなく、ボイスメールボックスにコールを直接転送できます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- ボイスメール プロファイルの設定
- コンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) のルート ポイントの設定

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified Communications Manager 12.5
- Cisco Unity Connection 12.5

このドキュメントの情報は、次のようなさまざまなレガシーシステムを使用して事前に検証されています。

- Cisco CallManager 3.2.2 spD

- Cisco Unity
- デジタルAvayaシグナリングを使用してOctelに接続されたCisco Digital PBX Adapter(DPA)
- アナログシグナリングおよびSimplified Message Desk Interface(SMDI)を使用してOctelに接続されたCisco VG248 Analog Phone Gateway
- すべてのボイスメールシステムに接続されたCisco SMDI
- 宛先クラスタで上記のいずれかを使用するクラスタ間トランク(H.323)

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

設定

概要

このドキュメントの設定を使用する場合は、アスタリスク(*)と内線番号をダイヤルすると、その内線番号に関連付けられているボイスメールボックスに発信者が直接ドロップされます。この機能は、ボイスメール プロファイルにボイスメール ボックスのマスクを設定し、これをアスタリスクに対応する新しく作成された CTI ルート ポイントに関連付けることで作動します。アスタリスク(*)はボイスメールボックスのマスクによって除去され、コールがボイスメールに転送されると、ターゲットメールボックスの内線番号が適切なシグナリングヘッダーに配置されます。

注：アスタリスクの使用は必須ではありません。このドキュメントでは、アスタリスク(*)を例として使用しています。アスタリスクの代わりに、任意の番号シーケンスを使用できます。この機能のダイヤルシーケンスを開始するためにアスタリスクのような特殊文字を使用すると、通常はアスタリスクのキーで始まるパターンが標準のダイヤルプランにはないため、よい方法です。通常は、0 から 9 のような数値は使用しません。

ボイスメールプロファイルの設定


次の例に示すように、新しいボイスメールプロファイルを作成する必要があります。プロファイルは、ユーザの電話機に関連付けられたボイスメールプロファイルと区別するために、TransferToVMという名前が付けられています。ボイスメール パイロットには、現在設定されている代表番号を設定します。ボイスメール ボックスのマスクには、5桁のダイヤル計画に合わせて、ワイルドカードのXXXXX が指定されています。4桁のダイヤルを使用する場合は、このワイルドカードをXXXXに設定します。

ダイヤルプランが何であれ、このワイルドカードは右から始まるダイヤル番号と一致します。マスクと一致する数字の前にある文字はすべて削除されます。

注意：このプロファイルをシステムのデフォルトのボイスメール プロファイルにはしないでください。

Voice Mail Profile Configuration Related Links: [Back To Find/List](#)

Status

 Status: Ready

Voice Mail Profile Information

Voice Mail Profile: TransferToVM (used by 0 devices)


Voice Mail Profile Name*


Description

Voice Mail Pilot**

Voice Mail Box Mask

Make this the default Voice Mail Profile for the System

 *- indicates required item.

 **- The Voice Mail Pilot is comprised of the Voice Mail Pilot Number and it's corresponding Calling Search Space Name (< Voice Mail Pilot Number >/< Calling Search Space >).

CTIルートポイントの設定

新しいCTIルートポイントを作成する必要があります。このセクションの例は、TransferToVMという名前のVMを示しています。この装置には、他と同様に、Device Pool、Calling Search Space、Locationを設定します。これはCTIルートポイントであり、どのCTIアプリケーションにも登録されず、ディレクトリ内のどのユーザにも関連付けることはできません。

CTI Route Point Configuration Related Links: [Back To Find/List](#)

Status

Status: Ready

Device Information

Registration: Unknown
 IPv4 Address: None
 Device is trusted

Device Name*
 Description
 Device Pool* [View Details](#)
 Common Device Configuration [View Details](#)
 Calling Search Space
 Location*
 User Locale
 Media Resource Group List
 Network Hold MOH Audio Source
 User Hold MOH Audio Source
 Use Trusted Relay Point*
 Calling Party Transformation CSS
 Geolocation
 Use Device Pool Calling Party Transformation CSS

Association

[Line \[1\] - *15XXX in Internal PT](#)
 [Line \[2\] - Add a new DN](#)

*- indicates required item.

CTIルートポイント回線の設定によりこれが可能になります。この例では、電話番号は*15XXXに設定されています。この設定は、すべてのメールボックスに転送する*XXXXXと同じくらい簡単に設定できます。また、*15654と同じくらい細かい設定で、1つのユーザメールボックスに転送できます。[ボイスメールプロファイル]フィールドの[ボイスメールプロファイルの設定](#)セクションで作成したボイスメールプロファイルを選択し、[自動転送とピックアップの設定]で[ボイスメールにすべて転送]を選択します。

Directory Number Configuration Related Links: [Configure Device \(TransferToVM\)](#)

Status

i Status: Ready

Directory Number Information

Directory Number* *15XXX Urgent Priority

Route Partition: Internal_PT

Description: Transfer directly to voicemail

Alerting Name: TransferToVM

ASCII Alerting Name: TransferToVM

External Call Control Profile: < None >

Associated Devices: TransferToVM

v v

Dissociate Devices:

Directory Number Settings

Voice Mail Profile: TransferToVM (Choose <None> to use system default)

Calling Search Space: < None >

BLF Presence Group*: Standard Presence group

User Hold MOH Audio Source: < None >

Network Hold MOH Audio Source: < None >

Calling Line ID Presentation When Diverted: Determined by Last Hop

Reject Anonymous Calls

Directory Number Configuration Related Links: [Configure Device \(TransferToVM\)](#)

forwarding history

Call Forward and Call Pickup Settings

	Voice Mail	Destination	Calling Search Space
Calling Search Space Activation Policy			Use System Default
Forward All	<input checked="" type="checkbox"/> or	<input type="text"/>	< None >
Secondary Calling Search Space for Forward All			< None >
Forward Busy Internal	<input type="checkbox"/> or	<input type="text"/>	< None >
Forward Busy External	<input type="checkbox"/> or	<input type="text"/>	< None >
Forward No Answer Internal	<input type="checkbox"/> or	<input type="text"/>	< None >
Forward No Answer External	<input type="checkbox"/> or	<input type="text"/>	< None >
Forward No Coverage Internal	<input type="checkbox"/> or	<input type="text"/>	< None >
Forward No Coverage External	<input type="checkbox"/> or	<input type="text"/>	< None >
Forward on CTI Failure	<input type="checkbox"/> or	<input type="text"/>	< None >
Forward Unregistered Internal	<input type="checkbox"/> or	<input type="text"/>	< None >
Forward Unregistered External	<input type="checkbox"/> or	<input type="text"/>	< None >
No Answer Ring Duration (seconds)	<input type="text"/>		
Call Pickup Group			< None >

これで、誰でも直接ユーザメールボックス（またはCTIルートポイントの電話番号に内線番号が含まれているユーザ）を呼び出すことができます。複数の個別のボイスメールサーバがある場合は、それぞれのボイスメールプロファイルを作成する必要があります。回線を追加すると、同じCTIルートポイントを使用できます。これは、クラスタ間トランクでも機能します。

注：CTIルートポイントの電話番号の[Alerting Name（呼び出し名）]または[Display（内部発

信者ID) (内部発信者ID) (Display (Internal Caller ID))]に「Voicemail (ボイスメール) 」という語を使用しないでください。「ボイスメール」という語を使用すると、Cisco Unityはコールを転送コールとして処理するのではなく、直接コールとして処理します。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [ユニファイドコミュニケーション製品のサポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)